

猫の「ニャン」という泣き声を表す「2 (ニ)」が並ぶ2月22日は「猫の日」です。今回は、これにちなんで猫の舌についてお話ししたいと思います。

猫になめられると、ザラッと感じることがありますね。これは、猫の舌の表面を構成しているのが糸状乳頭しじょうにゅうとうという突起によるものです。この糸状乳頭には、毛繕いのように汚れを絡めとるほか、獲物の肉を骨からそぎ落とす役割があります。意外な力強さに驚く方も多いと思いますが、私たちがなめられてもけがをしないのは、猫が力を加減しているからなのです。

また、猫は人ほど味覚を感



猫の舌の秘密

じないようです。人も猫も、舌の表面にある味蕾細胞みらいで味を感じ取りますが、猫は人の10分の1～20分の1ほどしか細胞がないためです。苦みと酸味は比較的感じやすく、甘みと塩味はあまり感じません。これは、野生で生活していたころの名残で、腐敗したものを食べないように、苦みや酸味に敏感になったようです。糖分や塩分については、人の食べ物は負担になってしまうことがあります。猫用のフードを与えるほか、手作りする場合も塩分を控えめにすることを心がけてください。

ちなみに、「猫の舌」が由来になったお菓子があることをご存じでしょうか。細長い楕円型をした「ラング・ド・シャ」というお菓子は、フランス語で「猫の舌」という意味です。今では細長い棒状など、さまざまな形になっていますが、もとは形が猫の舌に似ていたことから名前が付いたそうです。

動物の体について調べてみると、意外な発見があります。家庭で子供と一緒に図鑑などで調べてみてはいかがでしょうか。動物に興味を持つきっかけになるかもしれません。

(アニコム損保

獣医師 古沢優)